

河川整備計画の概要について

高瀬川水系河川整備計画(変更)の概要について

【令和3年2月】

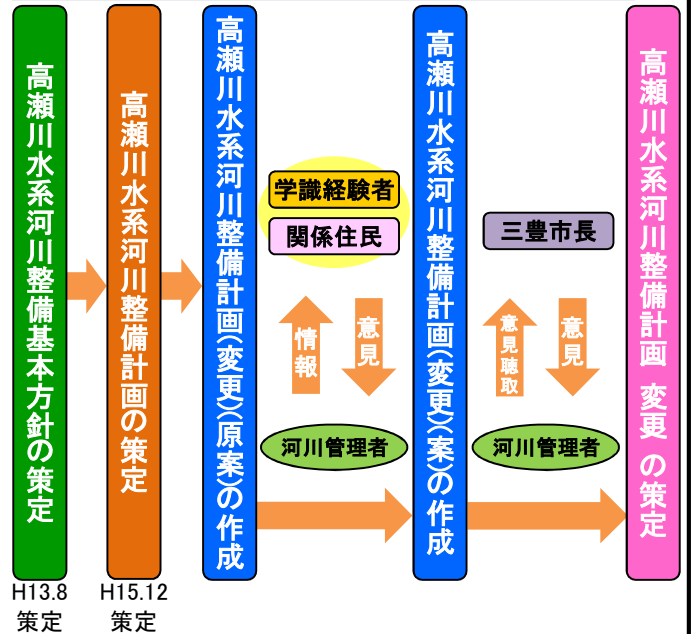
高瀬川水系河川整備計画の変更について

香川県では、高瀬川水系の長期的な河川整備の目標を定めた「高瀬川水系河川整備基本方針」を平成13年8月に策定しました。その後、同方針に基づき概ね20年間の具体的な整備内容を示した「高瀬川水系河川整備計画」を平成15年12月策定しました。

同整備計画では、三豊市高瀬町上勝間地先の高松自動車道付近から大道橋付近までの約1.2km区間を改修区間として位置付け、これまで河道拡幅、護岸整備等を実施し、令和2年度に完了する見込みとなりました。

今回の河川整備計画の変更は、過去に浸水被害が発生している高瀬川支流**浜堂川**の河道整備を実施することに加え、**大規模地震、津波による被害の防止または軽減を図るための対策を河口部で実施**するものです。

「高瀬川水系河川整備計画」の変更までの流れ



高瀬川水系の概要

高瀬川は、香川県三豊市を流域にもつ流域面積約67km²、幹川流路延長約15kmの二級河川です。その源流は琴平山に発し、三豊市高瀬町、三野町において支川を束ねながら北西へ流下し、三豊市詫間町で瀬戸内海に注いでいます。



詫間水門上流 (河口から1.6km付近)



三野津橋上流 (河口から4.3km付近)

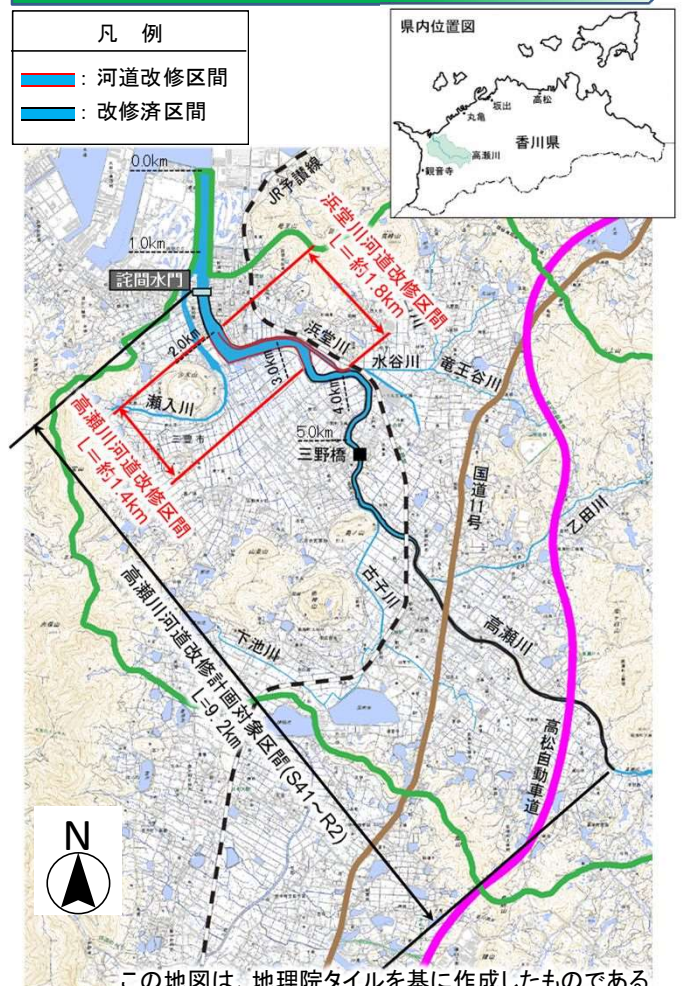


浜堂川JR浅津川橋梁下流 (高瀬川合流点から1.7km付近)



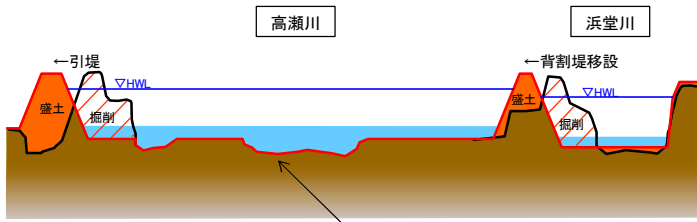
浜堂川県道橋下流 (高瀬川合流点から2.5km付近)

河川整備計画の位置図



高瀬川・浜堂川の河道整備

- 場所：高瀬川…浜堂川合流点～上流約1.4km
浜堂川…高瀬川合流点～水谷川合流点
上流までの約1.8km
- 目的：高瀬川で年超過確率1/50、浜堂川で年超過確率1/10の降雨で発生する洪水に対し、浸水被害を軽減する。
- 内容：河道拡幅、河床掘削、引堤、背割堤移設、橋梁架替 等



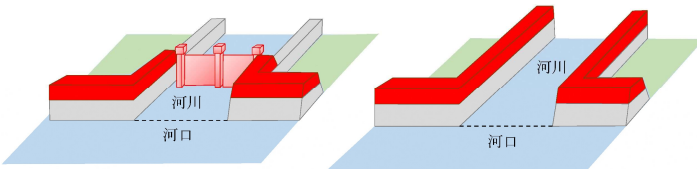
※横断面形状は、現地の状況により変更となる場合がある

現況のみお筋や河道形状を保全

代表横断面図
(河口から2.9km付近)

高瀬川河口部の地震、津波対策

- 場所：高瀬川の河口部
- 目的：洪水に加えて大規模地震、津波による被害を防止または軽減する。
- 内容：
 - ①地震に備えて堤防等の耐震補強の実施
 - ②津波に対応できる堤防等の整備



津波水門方式

堤防方式

河口部の地震・津波対策のイメージ

河川水の適正な利用

- 河川水の適正な利用：流域の水利用形態の把握に努める。
- 流水の正常な機能の維持：高瀬川水系にふさわしい流量を設定できるように、住民や関係機関と連携し、今後さらに検討する。

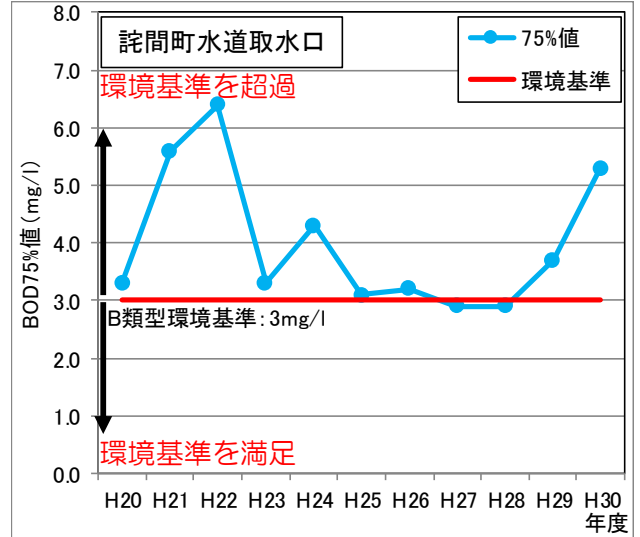


この航空写真は、地理院地図(電子国土Web)を基に作成したものである

三豊市水道取水地点

河川環境の整備と保全

- 水質：高瀬川の水質は、環境基準を満足していない年もあり、今後も引き続き関係機関と連携し、地域の実情にあった生活排水処理施設を効率的、計画的に整備するなど、現状の水質の維持・改善に努める。



詫間町水道取水口地点の水質

※75%値とは、年間観測データを良い方から並べて、75%番目の数字である。

- 動植物の生息・生育・繁殖環境：高瀬川水系に生息する動植物の生息・生育・繁殖環境を維持するため、現状の河川形態の保全及び魚類等の移動の連続性の確保に努める。



シマヒレヨシノボリ
(環境省 準絶滅危惧)



ミナミメダカ
(環境省 絶滅危惧Ⅱ類)
(香川県 準絶滅危惧)

- 河川空間の利用：人と川のふれあいの場となるような環境づくりに努める。河川環境の美化・保全等、地域との連携、協力体制の構築を推進する。



詫間水門上流のオープンスペース